

る広報，民生委員・児童委員，自治会長などによる幅広い聞き取り等の取組を序々に強化した。報道機関による災害救援ボランティアの活動の紹介や各災害ボランティアセンター連絡先の紹介，ボランティアへの参加促進，被災者への救援ニーズの申し出方法等の広報も功を奏し，各災害ボランティアセンターに集まるボランティア登録者数や救援ニーズ数も増加した。

こうして，各災害ボランティアセンターも軌道に乗りつつある一方，猛暑のなかでの活動となるボランティアに対し熱中症予防の注意を喚起するため，救援対策本部では各災害ボランティアセンターに対し，ボランティアに対する水分補給と休憩の徹底や，災害ボランティアセンターの運営に必要な資金を確保するため，鹿児島県共同募金会と連携して災害支援制度の手続きの周知などを通知した。



【災害ボランティアセンター活動風景】



【活動終了後の水分補給】

### (3) 終期の対応（災害ボランティアセンター終期）

こうして多くのボランティアに協力を得ることができ，予想以上のスピードで対応が進み，29日の302件の救援ニーズをピークに，ニーズ件数が減少傾向を見せ始めた。

各災害ボランティアセンターでは，参集するボランティアに対し救援ニーズが少ない状況が生じる所もでてきた。救援対策本部では，こうした事態に対応するため，各災害ボランティアセンターの状況を収集しホームページで広報したり，ボランティアが足りていない災害ボランティアセンターの情報をボランティアが足りている災害ボランティアセンターに情報提供するなど，できるだけ混乱が生じないように努めた。各災害ボランティアセンターも，家屋内の家具や畳の搬出，土砂除去，食器類の洗浄，清掃等の救援ニーズを持った方がいないか再度広報等の取組を行った。

次第に救援ニーズ及びボランティアの数が減少傾向となり，各災害ボランティアセンターも解散に向けた動きが見え始め，通常のボランティアセンターで対応できる状況になってきた。救援対策本部では，解散の方針が固まった災害ボランティアセンター情報をできるだけ速く周知するため，情報収集に努めホームページ等に掲載した。そして，別表2のとおり順次各災害ボ

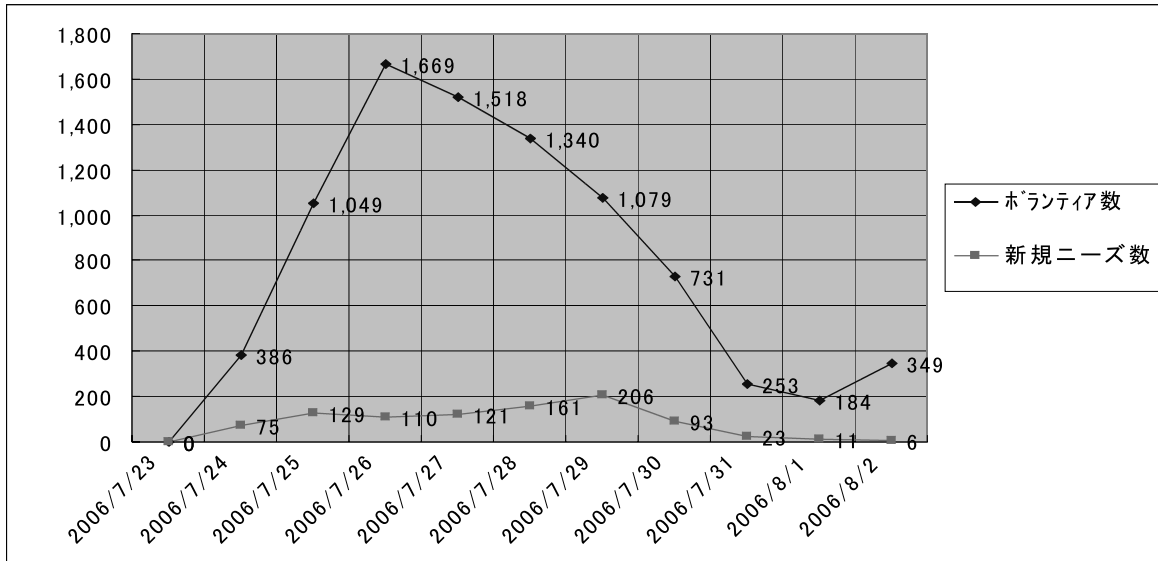
【別表2】 災害ボランティアセンター解散状況

社 協 名	解散年月日	ボランティア数	ニーズ受付数
薩摩川内市	H18/8/4	350人	90件
出水市	H18/8/2	3,502人	236件
大口市	H18/8/4	521人	53件
さつま町	H18/8/2	2,611人	420件
菱刈町	H18/8/1	137人	23件
湧水町	H18/7/31	1,437人	113件
県社協	H18/8/8	—	—
合計	—	8,558人	941件

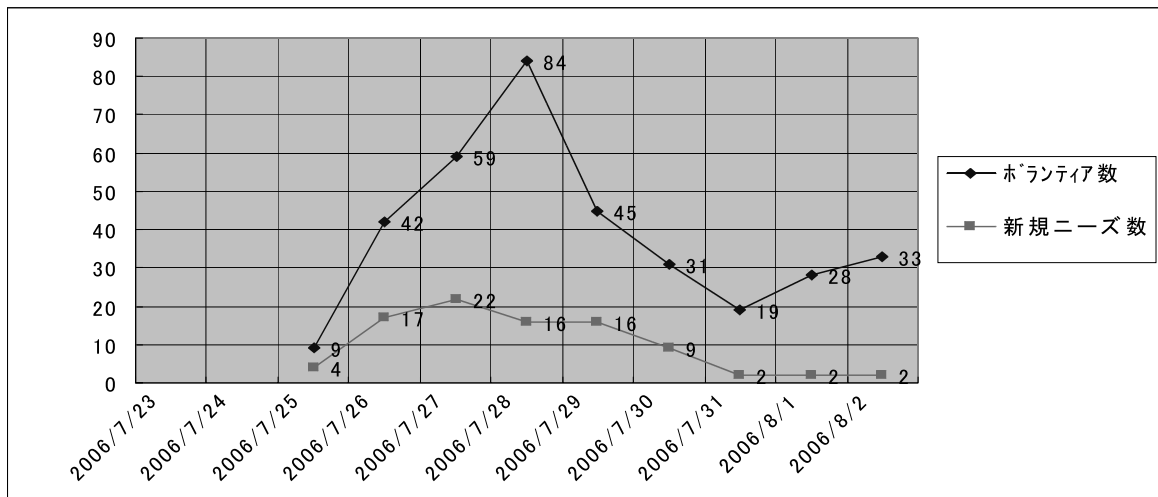
ランティアセンター及び救援対策本部が解散した。

なお、今回の取り組みにおいて、参加したボランティアの数は8,558人、受け付けた救援ニーズ数は935件となった。

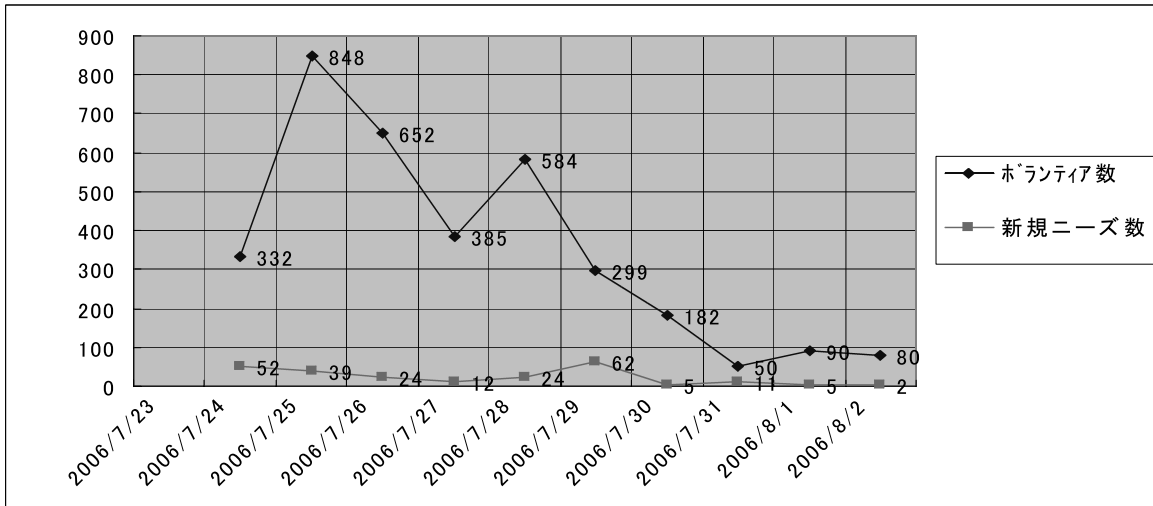
ボランティア登録者数とニーズ数の推移（3市3町総括表）



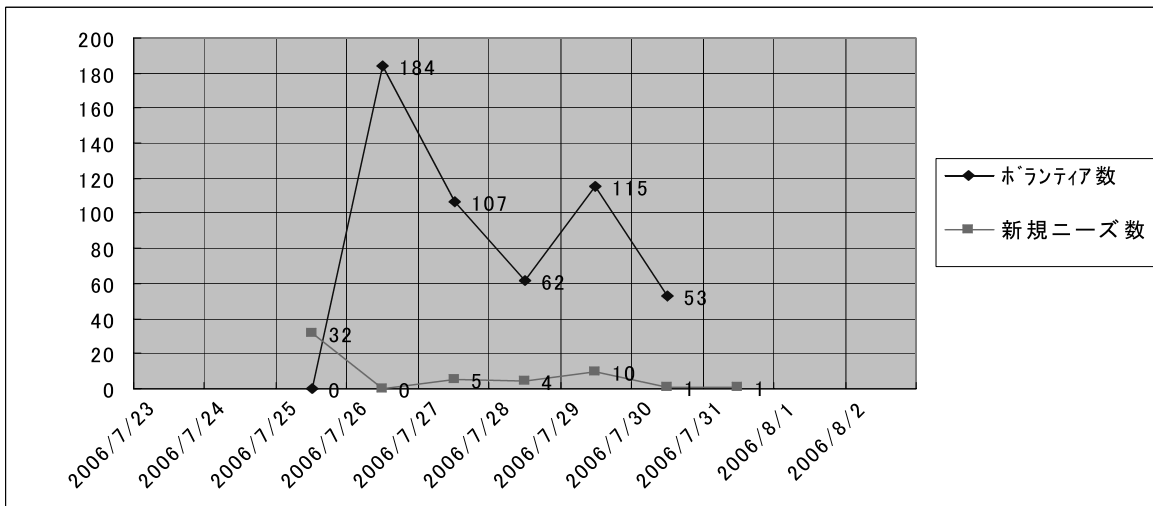
(1) 薩摩川内市



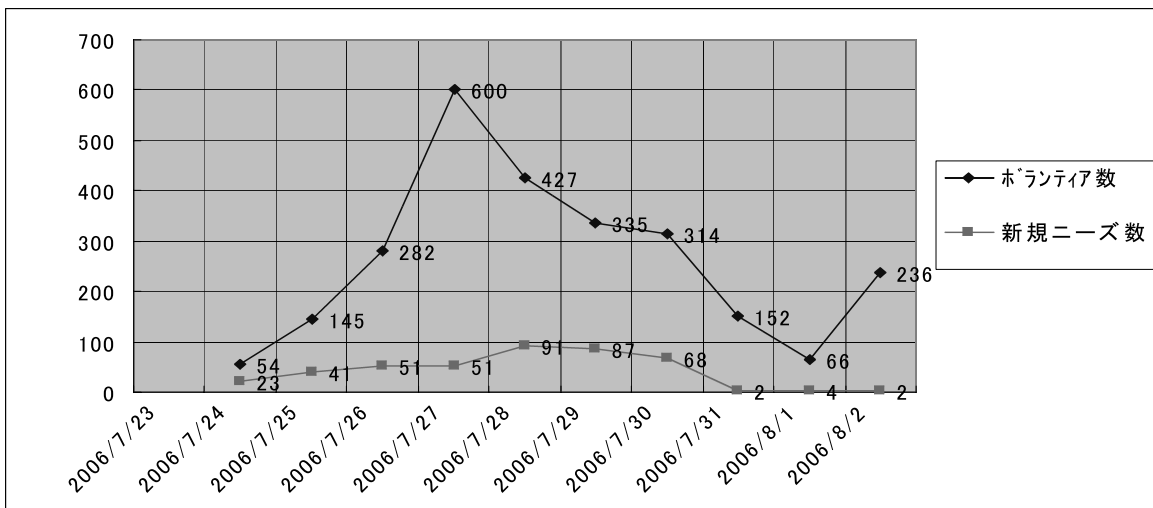
(2) 出水市



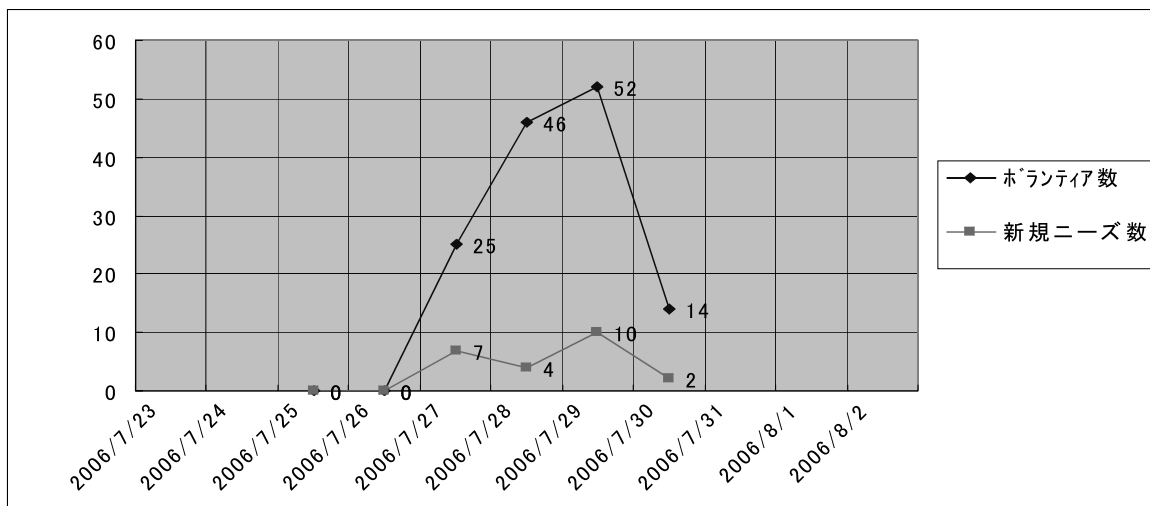
(3) 大口市



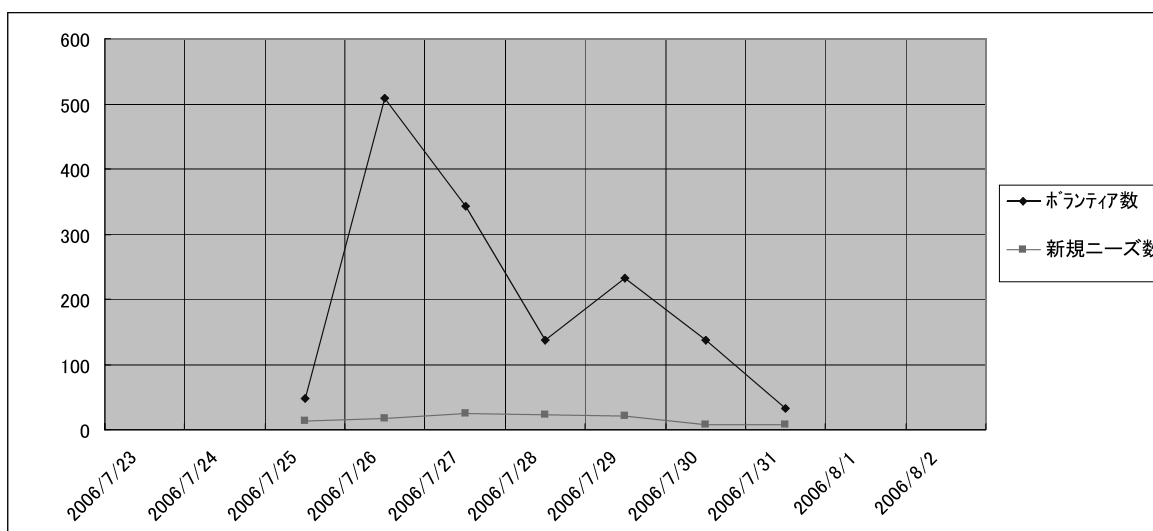
(4) さつま町



(5) 菱刈町



(6) 湧水町



## 第2節 児童，生徒の活動

### 1 公立小中学校，県立高校

今回の豪雨災害では，近隣の小中学校及び県立高校の児童・生徒，延べ約6,700人，また教職員，延べ約3,000人が，ボランティア活動に参加した。

小・中学生は，主に家具等の泥落としや雑巾がけ，家の周りの泥流しなどに，高校生は土砂の除去や家屋の後片付け等に従事した。参加した生徒は，「こういうときこそ，地域で助け合わないといけないと思った」とか，「相手のことを思いやる気持ちや人に対する心配りなど，大切なことをたくさん学ぶことができた」などと感想を述べている。

### ○ボランティア活動参加状況

区 分		児童生徒	職 員	合 計
学	小中学校	3, 385	2, 371	5, 756
	高 校	3, 301	552	3, 853
校	計	6, 686	2, 923	9, 609

## 2 私立学校

県北部地域の私立学校3校において、7月24日～8月1日の間、延べ645人の生徒が、被災者宅、小学校及び企業・事業所等の清掃活動などのボランティア活動を実施した。

また、8月11日には、高校の吹奏楽部によるチャリティー演奏会が出水市内で開催され、多くの方々の参加があった。



生徒によるボランティア活動の様子（さつま町）

## 第3節 建設業の活動

今回の豪雨災害により県内建設業においては、県と社団法人鹿児島県建設業協会が平成18年1月24日に締結した「大規模災害時における応急対策に関する協定」に基づき、障害物の除去や河川護岸への土のう積など応急復旧活動を行うとともに、同協会員が被災住民と力を合わせ土砂や放置された家財道具の除去作業等のボランティア活動を献身的に実施した。

なお、出動した延べ人数は6,386人で車輛・重機は延べ3,920台に及んだ。

平成18年7月鹿児島県北部豪雨災害に伴う出動状況

支部名	作業員，オペレーター等	重機，トラック等
鹿児島	241	103
谷山	140	69
甑島	124	72
宮之城	1,357	1,078
出水	1,508	744
大口	931	649
加治木	504	231
栗野	758	462
鹿屋	823	512
合計	人 延べ 6,386	台 延べ 3,920

※提供：社団法人鹿児島県建設業協会（ボランティア活動以外も含む）



重機による災害廃棄物の処分状況